



## 令和3年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和3年1月29日

上場会社名 株式会社 三東工業社 上場取引所 東  
 コード番号 1788 URL http://santo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥田 克実  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 矢森 貞行 TEL 077-553-1111  
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年6月期第2四半期の業績 (令和2年7月1日～令和2年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年6月期第2四半期	3,091	5.8	77	△16.8	80	△20.5	49	△22.5
2年6月期第2四半期	2,920	19.1	92	62.9	101	50.7	63	56.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年6月期第2四半期	83.30	—
2年6月期第2四半期	93.26	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年6月期第2四半期	4,626	2,535	54.8
2年6月期	4,003	2,524	63.0

(参考) 自己資本 3年6月期第2四半期 2,535百万円 2年6月期 2,524百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00
3年6月期	—	0.00	—	45.00	45.00
3年6月期 (予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和3年6月期の業績予想 (令和2年7月1日～令和3年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	5.2	130	42.7	140	26.2	90	△7.2	151.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

3年6月期2Q	686,000株	2年6月期	686,000株
3年6月期2Q	91,359株	2年6月期	91,359株
3年6月期2Q	594,641株	2年6月期2Q	685,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新規求人倍率は2か月連続かつ大幅に上昇し、有効求人倍率も3か月ぶりに上昇したものの、7か月連続で1倍を下回り低水準が続いております。投資需要では、住宅投資は大きく伸びたものの民間設備投資と公共投資は低調な状態が続いております。このような中、景気の現状は新型コロナウイルス感染症拡大の悪影響により、依然として厳しいものの、持ち直しの動きが続いているとみられます。

一方、建設業界につきましては、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は8か月連続かつ大幅に減少し、公共工事の請負金額も2か月連続で大幅減少しました。新設住宅着工戸数は、貸家を除き他の利用関係で大きく伸びたため、全体では3か月ぶりに大幅増加いたしました。

このような経済状況下、当社は現場力の強化、経費削減及びリスク管理の強化に重点的に取り組み、競争力を高める努力をしております。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高3,091百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益77百万円（前年同四半期比16.8%減）、経常利益80百万円（前年同四半期比20.5%減）、四半期純利益49百万円（前年同四半期比22.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ①土木部門

土木部門の受注工事高は、2,542百万円（前年同四半期比1.0%減）となり、完成工事高2,028百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益77百万円（前年同四半期比81.9%増）となりました。

## ②建築部門

建築部門の受注工事高は、2,254百万円（前年同四半期比71.9%増）となり、完成工事高1,046百万円（前年同四半期比23.5%増）、セグメント損失7百万円（前年同四半期はセグメント利益38百万円）となりました。

## ③不動産部門

不動産部門の売上高は15百万円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント利益7百万円（前年同四半期比37.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は3,600百万円となり、前事業年度末に比べ653百万円増加いたしました。これは主に現金預金が488百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,025百万円となり、前事業年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が16百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,626百万円となり、前事業年度末に比べ622百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,034百万円となり、前事業年度末に比べ614百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が350百万円増加したことによるものであります。固定負債は56百万円となり、前事業年度末と比べ3百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が5百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,091百万円となり、前事業年度末に比べ611百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,535百万円となり、前事業年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が22百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.8%（前事業年度末は63.0%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年8月7日に公表しました令和3年6月期第2四半期の業績予想値と決算値との差異が生じました。

なお、当該差異に関する開示は、本日（令和3年1月29日）公表の「業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の業績予想につきましては、変更しておりません。今後の市場動向などを踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年6月30日)	当第2四半期会計期間 (令和2年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,251,186	1,739,295
受取手形・完成工事未収入金等	1,427,445	1,614,029
販売用不動産	202,336	202,336
その他	66,433	45,234
流動資産合計	2,947,401	3,600,897
固定資産		
有形固定資産		
土地	391,314	391,314
その他（純額）	343,685	331,014
有形固定資産合計	734,999	722,328
無形固定資産		
その他	23,126	22,861
無形固定資産合計	23,126	22,861
投資その他の資産		
投資有価証券	179,888	162,951
その他	141,262	140,409
貸倒引当金	△22,698	△22,698
投資その他の資産合計	298,452	280,662
固定資産合計	1,056,578	1,025,853
資産合計	4,003,979	4,626,750
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	850,519	1,123,136
短期借入金	—	350,000
未払法人税等	58,252	38,105
未成工事受入金	420,450	451,459
完成工事補償引当金	6,400	4,700
その他	84,379	67,328
流動負債合計	1,420,001	2,034,729
固定負債		
繰延税金負債	6,775	1,269
その他	52,984	55,191
固定負債合計	59,759	56,460
負債合計	1,479,761	2,091,190

（単位：千円）

	前事業年度 (令和2年6月30日)	当第2四半期会計期間 (令和2年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	849,500	849,500
資本剰余金	625,900	625,900
利益剰余金	1,212,369	1,235,142
自己株式	△209,913	△209,913
株主資本合計	2,477,856	2,500,628
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,362	34,931
評価・換算差額等合計	46,362	34,931
純資産合計	2,524,218	2,535,559
負債純資産合計	4,003,979	4,626,750

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 令和元年7月1日 至 令和元年12月31日）	当第2四半期累計期間 （自 令和2年7月1日 至 令和2年12月31日）
売上高		
完成工事高	2,903,158	3,075,034
不動産事業等売上高	17,230	15,981
売上高合計	2,920,388	3,091,015
売上原価		
完成工事原価	2,641,420	2,829,490
不動産事業等売上原価	5,650	8,718
売上原価合計	2,647,070	2,838,209
売上総利益		
完成工事総利益	261,738	245,543
不動産事業等総利益	11,579	7,262
売上総利益合計	273,317	252,806
販売費及び一般管理費	180,669	175,696
営業利益	92,648	77,109
営業外収益		
受取利息	31	30
受取配当金	730	607
経営指導料	8,978	3,516
雑収入	511	1,313
営業外収益合計	10,251	5,468
営業外費用		
支払利息	216	522
支払保証料	915	1,139
営業外費用合計	1,132	1,662
経常利益	101,767	80,915
特別損失		
固定資産売却損	—	708
特別損失合計	—	708
税引前四半期純利益	101,767	80,206
法人税等	37,845	30,675
四半期純利益	63,922	49,531

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。